



Metropolis  
上海のSHANGHAI  
路地をゆく

1990年代初頭より政府主導の下に国家プロジェクトとして開発が進む、上海浦東新区、陸家嘴金融貿易中心区。約1.7km<sup>2</sup>に及ぶエリアには、上海証券取引所を始め、各国金融機関や外資系オフィスの集積、ホテル、ショッピングセンター、国際会議場、緑豊かな住環境などを備え、金融センターとして必要な機能がコンパクトに集約された街として成長を続けている。2008年10月28日のグランドオープンを祝して、様々な路から見た上海環球金融中心を取り上げた。



Metropolis  
SHANGHAI  
上海の  
路地をゆく



様々な路から見た

# 上海環球金融中心

上海市は市の中心部を流れる黄浦江を挟み、西側が浦西地区、東側が浦東地区と呼ばれており、陸家嘴金融貿易中心区は浦東地区に属している。浦東地区は、1990年に国家プロジェクトとして開発が始まり、森ビルは1993年に当エリアでの開発に着手、1994年に事業決定を行う。1998年には上海森茂国際大廈（現名称：HSBCタワー）がオープン。グローバル企業が集積するトップグレードの建物としての評価を獲得した。そして、HSBCタワーでの開発、運営ノウハウを生かし、二十一世紀のグローバルスタンダードを誇るビルとして上海環球金融中心が誕生した。

上海環球金融中心は、様々な都市機能を集積、複合させた、



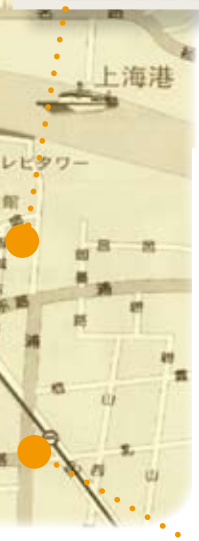
地上101階、高さ492mの「垂直の庭園都市」。大規模なメディアセンターをその中に抱く、情報センターでもある金融センターである。

上海環球金融中心は、その「グローバルマグネット」というコンセプトのもと、今後とも世界中の情報や人々を引きつけ、流れをつくり、再び世界中に影響を与えていく。ビジネスだけでなく、文化観光の拠点としての賑わいや魅力をも備えた、上海の新たなシンボル上海環球金融中心から、陸家嘴金融貿易中心区の今後の行方引き続き注目してほしい。

Metropolis  
SHANGHAI  
上海の  
路地をゆく



HSBCタワー屋上より



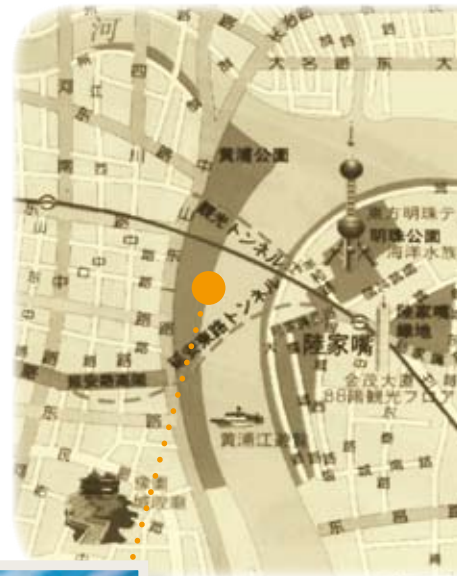
世紀大道、浦東南路口附近より



中央隣地公園より

ACCESS ●

地下鉄2号線  
「東昌路」駅下車  
4番出口より徒歩  
または  
「陸家嘴」駅下車  
3番出口より徒歩



外灘より